

マンスリー

サンズ・トーク(55)

2013.6.1

木村 讚

スカイツリー周年・墨堤逍遙記

スカイツリーが開業1周年目で好景気らしい。でも、地元の押上、業平地区はあんまり潤っていない。

先月は、業平の王さんゆかりのラーメン屋、五十番に行ってこのトークで披露しました。今度また、友人を誘って再訪したのです。3人で昼のビールでおだを上げ、ラーメンと餃子を食べました。

店主の92翁に聞くと、別にたいして客が増えるわけでもなく、まあやってるよと、泰然自若たるもの。でも、私としては、やっぱり歴史ある地元がもっと脚光を浴びて欲しいと思い、友人と別れたあと、隅田川周辺を見に行っただけでした。



ツリーの足元を流れる北十間川をゆく遊覧ボート 向島と浅草今戸をつなぐ桜橋

向島あたりの墨堤は、古くから花街や料亭があって乙な桜の名所。池波正太郎の鬼平犯科帳や剣客商売、平岩弓枝の御宿かわせみなどの時代小説の舞台でもあります。幕末ごろには、竹屋の渡しがあって、渡し船でいききしていました。そこへ昭和60年、歩行者専用のX字型の桜橋ができ、兩岸の桜を自由に見てまわれる遊歩道が整備され、対岸にはスポーツセンターも整えられたのです。



桜橋を写したがX字型の橋には見えにくい

元オリンピックのボート選手にご懇意ねがっているのですが、隅田川で早慶レガッタが行われるそうです。スタートは両国橋の下手、そこから蔵前橋、厩橋、駒形橋、吾妻橋、言問橋をくぐってゴールがここ、桜橋だそうです。大会のときなど、桜橋は応援の人で鈴なりにになります。

下流から上流へむけて3.75キロも漕ぎ上るのだそうです。応援する人もその間、小走りで並走するんでしょう。ご苦労様なことです。思うに、満潮なら川の流れも緩いでしょうが、干潮だと流れがきつい。漕ぐ選手も干満によって覚悟しなくちゃなんのでしょね。水面を見やりながら、素人考えで思ったものです。そうするうち、日は浅草のほうに傾いてきたので、言問橋から牛嶋神社を過ぎ、隅田川へ流れ込む北十間川の源森橋まで戻ってきました。

源森橋のオブジェ



最近、突如、橋の上に「支える」というオブジェが現れました。スカイツリーを見上げて草臥れたら、ここへ腰掛けてもいいらしいのです。

今回は、なんだか川とか橋が多かったですね。